



奉仕しよう みんなの
人生を豊かにするために

R I 会長 シェカール・メータ
地区ガバナー 大森 克磨
ガバナー補佐 土居 孝信
会長 佐久間 博文
幹事伊東昭彦
公共イメージ委員長 森山 雄二

例会日：毎週火曜日 点鐘12:30
例会場：かんぱの宿 日田
〒877-0074 大分県日田市中ノ島町685-6
TEL (0973) 24-0811
事務局：日田商工会館
大分県日田市三本松2-2-16
TEL(0973)22-6760 FAX(0973)28-6761

本日のプログラム

- | | |
|-----------|----------|
| ◎点鐘 | ◎会長の時間 |
| ◎君が代 | ◎幹事報告 |
| ◎ロータリーソング | ◎委員会報告 |
| 奉仕の理想 | ◎出席報告 |
| ◎四つのテスト | ◎スマイルアワー |
| ◎来訪者紹介 | ◎ゲスト卓話 |
| ◎誕生日祝 | 日田中央RAC |
| ◎食事 | ◎点鐘 |

ロータリーソング　奉仕の理想

奉仕の理想に 集いし友よ
御国に捧げん 我等のなりわい
望むは世界の 久遠の平和
めぐる歯車 いや輝きて 永久に栄えよ
我等のロータリー ロータリー

4つのテスト

- (言行はこれに照らしてから)
- I. 真実かどうか
 - II. みんなに公平か
 - III. 好意と友情を深めるか
 - IV. みんなのためになるかどうか

出席報告／第2165回 8月31日

会員数／32名　出席対象者／32名
欠席者／3名　出席率／90.63%
前回の修正／**食品ロス／3個**
来訪者／

※一年間のうち、各委員会で会合を持った場合は、必ず出席者名簿を提出して下さい。

例会予定／内容が変更なる場合があります。

- 9月 14日(火) チャリティ例会
※休会予定を変更
9月 21日(火) 通常例会
9月 28日(火) 休会
※14日例会開催予定により変更

■地区スローガン

ロータリーのパワーは親睦が生み出す!
あらゆる場面を親睦の機会に
～話しかけよう～

■クラブスローガン

人生の美しさと喜びを
共有しあえる仲間づくり

HP <http://hitachuo-rc.org/>
f <https://www.facebook.com/HitaChuoRC>
E-mail hitachuo@isis.ocn.ne.jp

会長の時間

みなさんこんにちは、今日は気になるコマーシャルから始めてみました。ACジャパンが支援活動をしている「ジャパンハート」のコマーシャルで、映像の一コマにロータリーの徽章(ワッペン)が医用機器のディスプレーの裏に貼られているのが気になりました。ジャパンハートを調べてみました。



佐久間博文会長

ジャパンハートの活動のあゆみ

ジャパンハートは、創設者であり小児外科医の吉岡秀人が、1995年に単身ミャンマーに渡って医療活動を始めたことからスタートしました。吉岡氏の活動は徐々に賛同者を増やし、2004年には「国際医療ボランティア団体ジャパンハート」を設立。2008年には「NPO法人ジャパンハート」、2011年には「認定NPO法人ジャパンハート」として、国内外で医療活動を続けています。

ジャパンハートはミャンマー、カンボジア、ラオスにて、子どもから成人まで幅広い患者に対する医療活動を行なうほか、18歳以下の子どもたちには無償で診察・手術を行っています。日本では、小児がんの子どもとご家族の旅行や外出をサポートするSmileSmilePROJECT、離島僻地に医療者を派遣するRIKAjob(リカジョブ)などを行なうほか、日本およびASEAN圏内での災害発生時に医療チームを派遣する国際緊急救援(iER)事業など、多岐にわたる活動を行っています。

年間の治療件数は約3万5千件にのぼり、団体設立以降の総治療件数は24万件以上となります(2020年3月現在)。

子どもたちの「命」と「心」を救うために

海外では、通える場所に病院がない、高度な治療ができる医療施設が少ない、貧困のために医療費を支払えないなどの理由で継続的な治療を断念せざるを得ず、日本であれば助かるはずの命が数多く失われています。

そこで、ジャパンハートは2016年、カンボジアに「ジャパンハート医療センター(現・ジャパンハートこども医療センター)」を建設し、無償での治療を開始しました。

同センターでは、カンボジアの他の病院では治療が受けられない小児固形腫瘍(小児がん)の治療や手術を行っています。小児がんの手術を始めた2018年から約3年間で69人の小児がんの子どもたちを受け入れ、多くの命と心を救ってきました。

これは多くの方からのご寄付や、活動に共感した日本の大学病院の医療チームが定期的に海外の活動地を訪れて高度な医療を提供してくれることに加え、現地の医療者への技術移転なども行い、人材育成の面でもご尽力いただいているおかげです。医療者だのみならず、学生や一般

の社会人など多くの方がボランティアとして現地に赴き、ジャパンハートの活動を支えています。

私たちが大切にしているのは「命と『心』を救う医療」。患者さん的心を救うことでも、医療の大切な役割だと考えています。治療や手術などの直接的な医療が命を救う一方で、非医療者であっても誰かの心を救い、「生まれてきてよかった」と思ってもらうことができるのです。

各国の未来を担う次世代の育成

ジャパンハートは、日本から派遣した医療者が治療にあたるだけでなく、いざなは各国の医療を担い、命を救う現地の人材育成にも取り組んでいます。カンボジアでは、貧困のため就学をあきらめていた子どもたちを対象に、日本からの里親制度によって医療者を目指す学生を育てる「夢の架け橋」、ミャンマーでは両親をエイズで亡くして孤児になる



会員増強クラブフォーラム 諫山悦子委員長

本日は、会員増強維持委員会による会員増強クラブフォーラムです。

今期の会員増強に向けて活動方針が示されました。

入会前の交流も重要ですが、入会後の新会員へのサポートは、非常に大切です。

★活動方針

①Each One Bring One(会員一人が一人の新会員を入会に導く)



諫山委員長

などした子どもたちを受け入れる養育施設「DreamTrain(ドリームトレイン)」の運営などが、次世代の育成活動にあたります。

ジャパンハートは今後も、国内外問わず、「医療の届かないところに医療を届ける」活動を続け、すべての人が生まれてきてよかったと思える社会を実現するため、多くの皆様に支えて頂きながら、歩みを止めることなく活動を続けています。

ロータリーでは、川合菜月さんがグローバル補助金奨学生としてイギリス・ウエストミンスター大学院で国際公衆栄養学を学ばれ、このジャパンハートカンボジアが運営する小児病棟で栄養管理部マネージャーとして現在活躍中です。(ロータリーの友2021.5月号掲載)



②増強活動に現会員すべての参加を促す

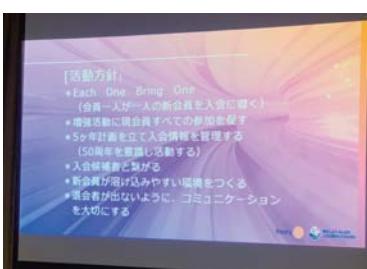
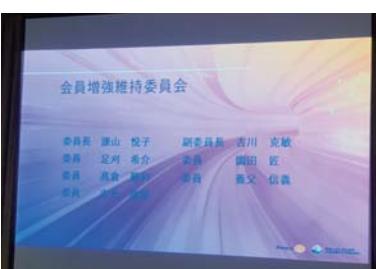
③5か年計画を立て入会情報を管理する(50周年を意識し活動する)

④入会候補者と繋がる

⑤新会員が溶け込みやすい環境をつくる

⑥退会者が出ないように、コミュニケーションを大切にする

5年後の50周年には、会員を50名とすることを目標に取り組んでいきます。ご協力よろしくお願いします。



幹事報告

◎第2720地区 堀川貴史ガバナーエレクトより

2022～2023年度 地区委員推薦のお願い

役職:各部門の委員

期間:2022～2023年度

提出期日:10月8日(金)

◎第2720地区 大分キャピタルロータリークラブより

衛星クラブ設立のご報告

クラブ名:

大分キャピタル Oli Oli ロータリー衛星クラブ

創立会員数:10名